

革新的な「働き方」へ

「リコー Value Presentation」を開催

リコーグループは12、13の両日、「Value Presentation 2017」(主催リコー ジャパン、リコー、リコー販売店会、リコージャパンビジネスパートナー)を開催。テーマは「All for Customers『働き方』にイノベーションを」。2日間で約8500人が来場した。働き方改革・セキュリティ強化・売り上げ拡大・業務効

率向上・社会インフラ・未来コンセプトの六つのゾーンでの展示のほか、ソリューションや最新技術を紹介するセミナーが約60種類開催された。

また、業務効率向上の安全確保、構内作業の安全、防犯・防災の四つが含まれており、デジタルサイネージ、無人搬送などさまざまなソリューションを提案する。

運輸のブースでは、テレニシ(大阪市中央区)の「IT点呼キーパー」などを含む「運輸業向け安全・安心パック」の展示が行われた。同パックには車両の安全運行、従業員

また、業務効率向上ゾーンで注目を集めたのは、個人宅配事業を展開する事業者などが採用している「リライタブルレーザーシステム」。環境配慮型の書き換え可能な配送ラベ



る。従来の紙ラベルに代わり通い箱の送付先や配送要件を通い箱に貼ったまま繰り返し書き換えられる(約1000回)。

運送業に関する課題解決セミナーでは、社会保険労務士事務所オフィスキよみ(大阪市福島区)の石原清美氏が、「運送業出身女性社労士が熱く語る!」と題して、ただでは押さえておきたい運送業の労務管理のポイント」と題し講演。トラック運送業の実態と労働時間の問題や、監査指導、行政処分強化、IT点呼導入による運行体制強化などについて分かりやす



く解説した。リコー関連では、リコーロジスティクス営業統括事業本部執行役員事業本部長の池田博明氏が「リコーが提案する共同物流」をテーマに講演した。(木村麻理奈)